

日時：平成27年9月30日（水）10：00～10：25

場所：市役所第6会議室

出席者：市長、副市長、理事、企画部長、民生部長、商工観光課長

取材者：東海新報社、岩手日報社、河北新報社、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、  
岩手めんこいテレビ（敬称略、順不同）

市長挨拶

日ごろ、陸前高田市の情報発信等にご協力いただき、また、お忙しい中をお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

明日から第3回の定例会が始まりますので議会の内容を説明させていただきます。また、この秋は実りの秋、イベントの秋ということで非常にたくさんの行事が予定されておりますのでお話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## <会見項目>

### (1)平成27年第3回定例議会について

市長)

会期は10月1日木曜日から20日火曜日までの20日間を予定しております。

一般質問は、12名の議員さんにより行われます。

次に提出案件について、その概要を説明させていただきます。

報告が2件、提出議案が28件でございます。

はじめに、報告第1号及び第2号であります。地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成26年度の健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するものです。

議案第1号から議案第2号までの2件は、市道6路線の変更、16路線の認定をしようとして提案するものであります。

議案第3号は、字の区域変更についてであります。小友地区で実施した農山村地域復興基盤総合整備事業により、字の区域を変更しようとして提案するものであります。

議案第4号は、陸前高田市被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約締結についてであります。土地区画整理事業の施工面積の縮小等により、復興整備事業業務を変更しようとして提案するものであります。

議案第5号の、津波復興拠点整備事業高田北地区（西区）講演整備工事の変更請負契約締結については、雨水排水等の工事を変更しようとして提案するものであります。

議案第6号は、防災集団移転促進事業泊第一住宅団地整備工事及び第三住宅団地整備工事の変更請負契約締結について、議案第7号は、防災集団移転促進事業脇の沢住宅団地整備工事（北工区）等の変更請負契約締結についてであります。それぞれ残土処理工事、法面の植生工事等を変更しようとして提案するものであります。

議案第8号は、市立高田東中学校新築工事の変更請負契約締結についてであります。部室及び柔剣道場の整備を追加しようとして提案するものであります。

議案第9号は、損害賠償についてであります。

市道神田線において、歩車道境界ブロックの破損により、市道側にはみ出していたコンクリート片に民間自動車接触した事故について、損害賠償の額を定め和解しようとして提案するものであります。

議案第10号は、溜池を廃止しようとして、陸前高田市溜池の設置、管理に関する条例の一部を改正しようとして提案するものであります。

議案第11号は、被災市街地復興土地地区画整理事業による仮換地の指定に伴い、陸前高田市建築協会条例の一部を改正しようとして提案するものであります。

議案第12号は、津波復興拠点整備事業高田北地区（西区）公園整備工事の完成に伴い、陸前高田市都市公園条例の一部を改正しようとして提案するものであります。

議案第13号は、暴力団排除を推進し、市民生活の安全と平穏の確保及び市民経済の健全な発展に寄与するため、陸前高田市暴力団排除条例を制定しようとして提案するものであります。

議案第14号は、適正な都市機能及び健全な都市環境を確保するため、陸前高田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を制定しようとして提案するものであります。

議案第15号は、平成27年度陸前高田市一般会計補正予算（第3号）についてであります。

今回の補正の内容ですが、復興関連事業費等を計上しているところでございまして、歳入歳出予算にそれぞれ8億6,145万円を追加し、総額を1,248億6,892万円とするものです。

復興関連の主な事業は、大野地区災害公園住宅整備事業費として、約1億3,600万円、田端地区災害公園住宅整備事業費として約6,000万円、運動施設設備に伴う都市施設災害復旧事業費として6,600万円、被災した自治会館等の整備を支援する補助事業費として約2,100万円であります。

そのほか、今年度再開したふるさと納税活用事業費として約1億2,800万円、老朽化したテレビ共同受信施設整備事業費として約6,000万円、人員確保のための放課後児童健全育成事業費として約2,600万円等であります。

議案第16号の農業集落排水事業特別会計から議案第20号の水道事業会計までの補正予算については、説明は割愛させていただきます。

議案第21号から第28号までは、平成26年度の一般会計及び特別会計、並びに水道事業会計の決算でございまして、審査をいただくことになっております。

以上で議案の説明を終わります。

#### 【質疑】

質問)

議案第15号の一般会計補正予算の中で、ふるさと納税に関わる内容がありましたが、再開した7月からこれまでどれくらいの収入があったのでしょうか。

企画部長)

およそ3,000万円ほどです。

質問)

今回計上している補正額1億2,800万円の内容は何でしょうか。

企画部長)

経費等を含む支出を見込んだものです。収入の部分では、本年度1億円ほどを見込んでおります。

## (2) 10月～11月の行事予定について

#### 【質疑】

質問)

去年は産業まつりとツール・ド・三陸の同時開催でしたが、別々に開催する狙いは何でしょうか。

商工観光課長)

ゲストの方をはじめとする大会関係者のスケジュールによるところが大きくなっております。

質問)

非常に行事が多くなってきている印象があります。まつりを集約して相乗効果を図ると  
というような話もありますが、実際には難しいでしょうか。

市長)

式年大祭やその他のまつりにつきましては、地域の方々がずっと続けてこられたもので  
すので、市が指示をするということは考えておりません。

ただし、今回はあまりに多いので、相乗効果を狙える方法があるとなれば検討する部分  
も出てくると思います。

### (3) 「第4回 ツール・ド・三陸」について

<補足説明>

参加申込状況 (9月28日現在)

◇健脚 Mountain コース	417 名	}	計 1,131 名
◇健脚 A コース	204 名		
◇健脚 B コース	282 名		
◇ファミリーコース	228 名		

#### 【質疑】

質問)

片山右京さんはどの場面にいらっしゃるのでしょうか。

商工観光課長)

開会式にもいらっしゃいますし、健脚 Mountain コースを参加者のみなさんと一緒に走  
られます。

#### <その他>

質問)

8月末に仮設住宅に住んでおられる市民の方の意向調査の結果を公表されましたが、高  
台移転の希望者が減っているなどいくつかの特徴があったかと思います。

数字だけを見てもどう評価して良いかわかりにくい部分がありますが、市長がどのよう  
に評価されているのかをお伺いします。

市長)

おっしゃるように、当初のみなさんの希望と現在では数字が合わなくなってきていて調  
整を要しているわけですが、正直申し上げて我々も理由をつきとめているわけではござい  
ません。ただやはり時間が経っていること、資材の高騰などは考えられます。

国の方々とお話をさせていただくと、どの地域でも再建をあきらめている人たちが出てきているという状況を聞いておりますので、しっかりと調査をしなくてはならないですし、どのように対処するかを詰めていかなくてはならないと考えております。

理事)

区画整理なので、土地は地権者に返さなくてはならないということになります。

質問)

計画上の変更は考えられますか。

市長)

これまでも聞き取りを行い実態に合わせる形で、国とも調整しながら繰り返し事業の変更見直しをかけてきたところ です。

被災者の方への説明会ではよく「土地の引き渡しから2年以内に工務店と契約をしないとペナルティがあるのか」と聞かれます。我々とすればもちろんペナルティを課すものではありませんが「お願い」ということが曖昧になっているので、もう少し分析する必要があると考えております。

質問)

意向調査を重ねてきて、今ここで何故？というお気持ちでしょうか。

市長)

希望が変わったのが数件であれば、それぞれの事情がおありでしょうからわかるのですが、あれだけ数字が乖離すると一年前の調査は何だったのかということになりますので、そのあたりの分析が必要だと考えているところ です。

以 上